

道しるべ

第1号

令和2年5月11日発行
進路指導部

令和2年度スタートにあたって

校長 高橋 譲

世界中でコロナウィルスの感染が拡大し、本校でも年度末の3月6日から臨時休校となりました。卒業式は規模を縮小し、やや寂しい式とはなりましたが、16人の高等部卒業生を社会に送り出すことができました。本校での学びを終えて巣立った16人は、4月から新たな場所での生活の中で、学校では学べなかったことを新たに学び、さらに成長していくことと思います。

学校では、始業式が延期になったり、3日間登校しただけで再度の臨時休校となったりと、学校が再開した後も、しばらくの間は「今までと同じ」ことはできないように思います。様々な大会などが中止になったり、「今までと同じ」、「いつもと同じ」に当たり前やってきたことが、当たり前でできなかつたりしています。

さて、児童生徒の皆さんが「いつも学校でやっていたこと」は、休校中にそれぞれの家でできていたでしょうか？こんな時だからこそ、「規則正しい生活」「笑顔であいさつ」「すすんで手伝い」といった、できることはしっかり続けることが大切です。中には学校と同じようにやるのが難しいこともあるでしょう。そんなときに、簡単にあきらめるのではなく、どうしたらできるのか、代わりにできることはないのか考えてみるのが大切です。「続ける力」「あきらめない力」「考える力」これらは、社会に出た時に、きっと役立つ力になるはずです。学校でも、家でも、力を高める場面はたくさんあります。社会の変化に対応できる力とは、最新の知識や技術ではなく、基礎的な力です。子どもたちを、変化の激しい社会に送り出す私たち大人も、コロナウィルスによる危機的状況を、身の回りの様々なことを見直す機会と捉え、子どもたちに負けずに、自分を鍛え直す時なのかもしれません。

これから一年間、私たち教職員と保護者の皆さんとで手を携え、子ども自身が夢や希望を叶えられるように支え、成長を見守っていきたくと思いますので、よろしくをお願いします。



進路の手引きについて

本校では、入学時に進路の手引きを配付しております。
面談時の進路相談で使用しますので、面談時にはぜひ御持参ください。
進路の手引きには、各種サービスや施設の情報を載せてあります。新しい情報については、進路だより「道しるべ」でお知らせしていきますので、疑問に思ったことや質問等は、学級担任や進路指導部にお問い合わせください。

進路の手引き
—第1巻—



秋田県立ゆり支援学校

キャリア・パスポート「未来へのスケッチ」

本校におけるキャリア・パスポート「未来へのスケッチ」とは、未来の夢や希望を描きつつ、『今年の目標』や『学期ごとの目標』、『目標達成のためにすること』を教師と一緒に考え、段階的に自己実現を果たすために作成するワークシートです。

作成に当たっては、本人の自己実現を支える人として、保護者の皆さまにも『(本人が) 支援してほしいこと』と一緒に考え、目標達成の協力をしていただくようなワークシートとなっております。

それを基に実践し生徒の変容や成長を振り返りで確かめ、次の目標設定へつなげていきます。

今年度は、中学部1年生から高等部3年生までの生徒が作成することになりますが、今後は小学部用のキャリア・パスポート「未来へのスケッチ」も模索し、小・中・高の積み重ねをつなげられるようにしていきたいと思えます。



未来への階段の種類や登り方は人それぞれ

令和元年度卒業生の今

石川諒太さん

ホテルアイリス（一般就労）で、4月1日から勤務しており、春季休業中、職員の弁当を配達しに来てくれました。

働いてみた気持ちはどうか質問すると「楽しいです。」と笑顔で答えてくれました。在学時の現場実習の時、従業員の方やお客さんに『笑顔』がいいとほめられてきました。就職を決めるに当たって、大きなアピールポイントになりました。



佐藤璃英さん

グランマート石脇店（一般就労）で4月1日から勤務しています。在学時から繰り返し実習に取り組んできたこともあり、人見知りな璃英さんも不安なく初日を迎えました。また、初日とは思えないくらいの落ち着きと任された仕事の出来映え、分からないときに従業員に聞くなどの働く態度や姿勢はさすがでした。

在学時から携わる仕事の適性だけでなく、職場の雰囲気や人に慣れておくことも、スムーズな社会への移行につながることを教えてくれました。



小林寛介さん、齊藤啓人さん

4月1日、水林新生園（生活介護）で入所式を迎えました。

二人とも緊張した面持ちでしたが、自己紹介を終えると、表情が穏やかになり、周囲に馴染んで過ごしていました。

